

大野町PR「任せて」

馬場さんと宮川さん就任

11代目大使

イベント会場などで大野町の魅力をPRする11代目「おおの親善大使」に、同町職員の馬場祐花さん(24)といび川農業協同組合職員の宮川寛子さん(26)が就任した。

任期は2年で、2人は10代目から続投。9代目から活動を続ける大垣西濃信用金庫職員の今村有良

さん(23)と共に同町の「大野まつり」や中部国際空港でのイベントに参加してきた。

町役場で委嘱式があり、町観光協会長の宇佐美晃三町長から馬場さんと宮川さんに委嘱状、今季限りで退任する今村さんには花束が贈られた。宇佐美町長は「コロナ禍で思つような活動が

できなかったが、これから行事が復活するかもしれない。その際には今まで以上に力添えをいただきたい」と期待を込めた。

宮川さんは「難しい状況ではあるが、いろいろな形でPRできたら」、馬場さんは「コロナ禍が収束し、さまざまな活動ができることを願う」と話した。

(柴田洋希)



11代目の「おおの親善大使」に就任した宮川寛子さん(左)、馬場祐花さん(中央)と今季限りで退任する今村有良さん
大野町役場